

新型コロナウイルス感染症対策における議会の支援に関する決議

討論要旨 芦原美佳子議員

このような決議という形で議会の意思表示を行うことは、尾張旭市議会では初めての試みである。

新型コロナウイルス感染症は、現時点においても大都市圏を中心に感染拡大の状況が続いており、第2波に備えながら、社会経済活動を広げていく段階に入っている。

この決議案は、本市においても感染症対策で多くの経費を必要とするため、その経費の一部、特に未来を担う子どもたちに対する支援策に充てて頂こうと、後期分の政務活動費や特別旅費等の議会費予算を凍結するものである。

議員の調査研究・その他の活動における必要な経費の一部として交付されている政務活動費の後期分の凍結に関しては、決して議員としての仕事、活動を放棄するという訳ではなく、不足する分は、自己負担で対応する覚悟である。

また、提案理由にあるように、明確な用途目的をもった市議会としての支援である。公明党尾張旭市議団はこれまで、市長に対し、新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急要望書を5度にわたり提出してきた。その中には、未来を担う子どもたちへの支援策も盛り込まれており、この目的について大いに賛同するものである。